

令和4年10月1日一部変更
~~令和4年5月1日一部変更~~
~~令和4年4月1日一部変更~~
~~令和4年1月26日一部変更~~
~~令和3年5月19日一部変更~~
~~令和2年10月12日~~

学生の皆さんへ

常葉大学/同短期大学部

新型コロナウイルス感染が判明した場合等の対応について

(令和4年10月1日から適用)

感染者（有症状者）となった場合 【学生課へ連絡してください】

- 新型コロナウイルス感染者と確認された場合は、保健所や医療機関の指示に従ってください。
- 療養期間中の授業の評価等については、不利益とならないように配慮し、欠席扱いにはなりません。（公欠届を療養期間終了後必ず教務課へ提出してください。）
- 「[自分が新型コロナウイルス感染症検査で陽性になったとき](#)」及び「[濃厚接触者相当者チェックリスト](#)」で濃厚接触者相当者に該当する人がいるかを確認してください。該当する人がいたら、その人に[濃厚接触者相当者に該当することを必ず連絡してください。](#)

感染者（無症状者）となった場合 【学生課へ連絡してください】

- 新型コロナウイルス感染者と確認されたものの無症状の場合は、検体採取日を0日として7日間は学内への登校を控えてください。
- 療養期間中の授業の評価等については、不利益とならないように配慮し、欠席扱いにはなりません。（公欠届を療養期間終了後必ず教務課へ提出してください。）
- 「[新型コロナウイルス感染症検査で陽性になったとき](#)」及び「[濃厚接触者相当者チェックリスト](#)」で濃厚接触者相当に該当する人がいるかを確認してください。該当する人がいたら、その人に[濃厚接触者相当者に該当することを必ず連絡してください。](#)

濃厚接触者となった場合 【学生課へ連絡してください】

- 濃厚接触者と認められた場合は、感染者と最後に接触した日を0日として5日間を自宅待機とします。
- 療養期間中の授業の評価等については、不利益とならないように配慮し、欠席扱いにはなりません。（公欠届を療養期間終了後必ず教務課へ提出してください。）
- その期間中に発熱や息苦しさ等の症状が出た場合は、かかりつけ医又は発熱等診療医療機関※に相談してください。
- 6日目以降に発症する可能性もあるため、引き続き体温を測るなどの健康観察を必ず行ってください。

検査結果が陰性でもその後に発症する場合もありますので、7日間を経過するまでは次のような感染対策の徹底をお願いします。

- 1 検温など健康状態の確認をすること
- 2 外出時にはマスクを着用すること
- 3 高齢者など重症化リスクの高い方との接触等を避けること
- 4 感染リスクの高い場所の利用や会食等は避けること

濃厚接触者相当者となった場合

- 濃厚接触者相当者との連絡を受けた場合は、まず、「[濃厚接触者相当者チェックリスト](#)」で濃厚接触者相当者に該当するかを確認してください。
- 濃厚接触者相当者に該当する場合は、感染者の発症日を0日として5日間は自宅待機することを推奨します。ただし、感染対策を行わずに感染者と会食などをした場合は、感染対策が徹底されている場合より二次感染率が高いため、5日間の自宅待機をお願いします。（公欠届は待機期間後必ず教務課へ提出してください）
- その期間中に発熱や息苦しさ等の症状が出た場合は、かかりつけ医又は発熱等診療医療機関※に相談してください。
- 6日目以降に発症する可能性もあるため、引き続き体温を測るなどの健康観察を必ず行ってください。
- 検査結果が陰性でもあっても、5日間の自宅待機を推奨します。なお、自宅待機の場合は、欠席扱いにはなりません。（公欠届は待機期間後必ず教務課へ提出してください）

濃厚接触者相当とは…次のア～オのいずれかに該当する場合

- ア 感染者と生活空間（食事や洗面浴場等の場）を共有している者（寮の同居者など）
- イ 1m以内の距離（互いに手を伸ばした際に触れる距離）で互いにマスクなし（※1）で会話をした者
- ウ 1m超から2m未満（互いに手を伸ばした際に触れない距離）は保っていたが、必要な感染予防策なし（※2）で、感染者と15分以上の接触（会話や飲食等）があった者
- エ 感染者からの距離に関係なく、換気等が不十分な空間に一緒にいた者
- オ その他、感染予防策が不十分な環境で感染者と接触した者

※1 不織布マスクを推奨

フェイスシールドやマウスシールドはマスク着用とみなさない。

※2 マスクを着用していたかのみならず、マスクによって鼻や口が隙間なく覆われていたかを判断する。

詳細は、「感染者から「濃厚接触者相当者」に該当すると連絡があったとき」を確認してください。

検査結果が陰性でもその後に発症する場合もありますので、7日間を経過するまでは次のような感染対策の徹底をお願いします。

- 1 検温など健康状態の確認をすること
- 2 外出時にはマスクを着用すること
- 3 高齢者など重症化リスクの高い方との接触等を避けること
- 4 感染リスクの高い場所の利用や会食等は避けること

同居家族が濃厚接触者となった場合

○登校前の検温やマスク着用等の感染防止対策を十分に行った上で、授業への出席は可能です。健康管理表（大学のHPからダウンロード）によって、毎日の健康観察を必ず行ってください。登校に不安がある場合は、学生課または教務課にご相談ください。また、同居家族との接触には、十分配慮してください。

同居家族に感染を疑わせる症状が出た場合

○健康管理表（大学のHPからダウンロード）によって、毎日の健康観察を必ず行ってください。体調に異常がなければ、登校前の検温やマスク着用等の感染防止対策を十分に行った上で、授業への出席は可能です。登校に不安がある場合は、学生課または教務課にご相談ください。また、同居家族との接触には、十分配慮してください。

発熱等の風邪の症状による体調不良の場合

○発熱等の風邪の症状による体調不良の場合は、体調が整うまで自宅で休養してください。
○毎日の健康観察を必ず行い、発熱や息苦しさ等の症状が出た場合は、かかりつけ医又は発熱等診療医療機関※に相談してください。
○すべての症状が消失して、3日（消失日を0日とします）を過ぎて体調が整えば、登校前の検温やマスク着用等の感染防止対策を十分に行った上で授業への出席は可能です。（欠席した場合には、体調不良等による欠席届を必ず提出し、担当教員から代替措置を受けてください。代替措置を受けた場合は、出席として扱います。）

通学上の不安や健康上の不安等から授業を欠席したい場合

○通学上の不安や健康上の不安あるいは濃厚接触者とは認められていないが感染者との接触があり欠席した場合には、体調不良等による欠席届を必ず提出し、担当教員から代替措置を受けてください。代替措置を受けた場合は、出席として扱います。
○健康管理表（大学のHPからダウンロード）によって、毎日の健康観察を必ず行い、発熱や息苦しさ等の症状が出た場合は、かかりつけ医又は発熱等診療医療機関※に相談してください。
○欠席した授業については、遠隔授業の実施、課題の提示及び補講の実施等により、学

生の皆さんに不利益とならないよう配慮します。(体調不良等による欠席届を必ず提出し、担当教員から代替措置を受けてください)

※発熱等診療医療機関は、県ホームページ（静岡県／静岡県内の発熱等診療医療機関について（pref.shizuoka.jp）で確認するか、発熱等受診相談センターへお問い合わせください。

【発熱等受診相談センター連絡先】

静岡市にお住まいの方：054-249-2221、浜松市にお住まいの方：0120-368-567

静岡市・浜松市以外の市町にお住まいの方：050-5371-0561

【本件担当】
各キャンパス学生課